

一般社団法人 日本チタン協会

2027 年度「チタン研究助成事業」応募要領

1. 本事業の概要と目的

本事業は、チタンの研究や開発を行う若手研究者の育成を目指すと共にチタンの更なる可能性を広げるために若手研究者を支援することを目的とする。

2. 応募資格

日本国内に居住し且つ日本の大学、短大、高専、工業高校もしくはその他研究機関に在職する若手研究者（40 歳未満）を対象とする。

3. 助成対象

金属チタンに関連した製造プロセス、物性、機能、加工、設計、感性工学、極限環境性能、用途開拓等を含む基礎および応用分野とする。

4. 助成件数および助成金額

件数は最大 3 件までとし、金額は一件あたり 40 万円とする。

また、助成対象となるのは研究開発に関わる会議費、設備費、消耗品費、交通費等の経費とする。

5. 応募方法

当協会ホームページに掲載します「チタン研究助成申請書」および「チタン研究助成対象課題」に記入の上、応募して下さい。

(URL:<https://www.titan-japan.com/>)

6. 応募期間

2026 年 10 月 1 日～2027 年 1 月 29 日（期限厳守）

7. 選考方法

当協会の選考委員会にて審査の上、会長の承認を経て決定する。

また、採択の決定通知時期は、2027 年 3 月末を予定し、採択された案件は成果報告後に当協会のホームページにて公表する。

8. 成果報告

2028 年 4 月末までに「研究成果報告書」および「助成金使途報告書」を提出して下さい。
また、当協会機関誌であるチタン誌（2028 年 10 月号）にて研究成果を報告して下さい。

9. 申請書送付先および問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 2F
一般社団法人 日本チタン協会 木村
電話：03-3295-5958 E-mail：kimura@titan-japan.com

以 上

【過去の採択結果】

年 度	氏 名	所 属	研究テーマ
2026	ワン ユーチェン	立命館大学	(成果報告後に公表)
	刈屋 翔太	大阪大学	(成果報告後に公表)
	董 明琪	東北大学	(成果報告後に公表)
2025	田中 友規	東京科学大学	Ti-Al 基合金における添加元素と酸素の相互作用が β 相安定性に及ぼす影響に関する第一原理的研究
	松宮 久	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	Ti-6Al-4V の Dwell 疲労におけるボイドクラック相互作用を含めた損傷評価に基づく余寿命推定手法の確立
	池尾 直子	神戸大学	チタン合金の超高機能化を目指したL-PBF法における材質制御手法の確立
2024	崔 正原	広島大学	Ti-6Al-4V 合金の水素脆性に対する接合技術の開発
	白石 貴久	熊本大学	a/b 周期構造を有した Ti-Zr 基合金の創成
	野平 直希	東京工業大学	双晶変形を示す直方晶 α'' チタン合金の材料強化に及ぼす添加元素の影響
2023	奥川 将行	大阪大学	チタン合金の金属 3D プリントにおける狭ピッチスキャン法による新規微細化手法の確立
	何 磊	立命館大学	Physical-informed 機械学習を用いた Ti-6Al-4V の非比例多軸クリープ疲労寿命予測手法の確立
	邱 琬婷	東京工業大学	医療材用共析近傍 β Ti 合金の形状記憶特性に及ぼす遷移元素添加の影響
2022	上村 源	東京大学	希土類金属およびその化合物の蒸気を利用する Ti の新規脱酸手法の開発
	オズカゴクチェカ	大阪大学	微細構造制御による付加製造 Ti-Cu 合金の特性向上と医療への応用
	渡邊 学	東京工業大学	静磁場印加電磁浮遊法による Ti 基融体の産業用データベースの構築
2021	松永 哲也	物質・材料研究機構	チタンにおける赤外線サーモグラフィを利用した疲労限度の迅速測定
	小笹 良輔	大阪大学	レーザ積層造形法による生体用チタン基ハイエントロピー合金の創製
	戸部 裕史	宇宙航空研究開発機構	チタン/セラミックス異材接合の低残留応力・高信頼性化を実現する低温液相拡散接合法の開発